

The NARA Physical Therapy Association News
奈良県理学療法士会ニュース

第137号

平成24年10月25日発行

発 行：奈良県理学療法士会ニュース編集部
編 集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）
ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
生涯学習部からお知らせ	3
平成24年度 奈良県理学療法士会専門領域勉強会 第1回特別講習会	5
平成24年度 第2回研修会	6
平成24年度第2回定例(拡大)理事会議事録	7
平成24年度第3回定例理事会議事録	8
賛助会員一覧・会員数・施設数動向	11

巻頭言



石橋 睦仁

最近の国内での社会的話題は、東日本大震災関連では、原発問題は議論されているようですが、被災地の状況や今後の復興についての報道が徐々に少なくなって来ています。それに変わり、尖閣諸島問題での日中関係の悪化など次々に発生している問題や政会の混沌とした状況の報道へと移行しているようです。本当に、今の政界は、この国を今後どのようなビジョンを持って進めようとしているのか、多くの国民が不安を感じているのではないのでしょうか。

そんな中、我々がこれから何を行っていかねばならないかをしっかりと見据えて、力を集結していかねばならないと強く感じている次第です。

日本理学療法士協会及び日本理学療法士連盟においても、政界へ議員を途切れることなく擁立していく活動として、山口議員の活動を推進（後援）しております。今後の理学療法士の運命を、我々が一致団結して自ら勝ち取っていかねばならないと思います。

さらに、学術的な活動を積極的に行い、理学療法（士）が国民にとって有意義であるという確固たる地位を築かねばならないと思います。

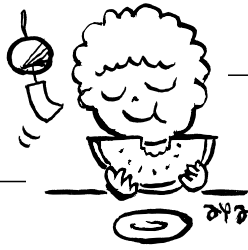
本会においては、今年度の重要な事業の一つである近畿理学療法学会大会が、11月11日（日）に奈良県文化会館で開催予定となっております。テーマは「理学療法士の自覚 ～期待に応えられる知識と技術と人間性～」です。尾崎大会長曰く、「理学療法にとって、EBM（evidence-based medicine）の概念は重要です。自らの理学療法を科学的な視点で再評価した上で、利用者様の問題を解決する理学療法でなくてはなりません。しかしながら、理学療法の対象は病気や障害だけではなくて、人間であり、生活であり、人生である場合も少なくありません。従いまして、極々当然のことではありますが、我々理学療法士は、知識だけでも、技術だけでも、人間性だけでも、成り立ちません。その上、それぞれに関しても「これで十分」と言うものもありません。理学療法士を続ける限り理学療法に悩み続けなくてはなりません。それこそが理学療法士の自覚」だと。その内容を充分とはいきませんが、反映出来るよう準備を行ってきました。

2年前から準備を進めてきていますが、昨年までの演題登録システムが使用できなくなったり、生涯学習システム・事前登録システムが今年度より新たに加わったりと右往左往する場面も多くありました。9月に入りプログラム集作成に何とかこぎつけています。このニュースが届くころには、そのプログラム集も届いている頃と思います。今後、当日の運営に向けて最終調整を行っていかねばなりません。そこで一人でも多くの会員の皆様が協力していただける事をお願いしたいと存じます。

思えば、6年前の近畿理学療法学会大会を担当し運営した時も、多くの会員の皆様の協力をいただき、成功裏に終えることができました。その時、本当に本会が一つにまとまった感覚を覚えております。

ただここ数年、規模がかなり拡大しており、さらに多くの皆様の協力が必要となります。奈良県理学療法士会の底力を見せようではありませんか。

お声がかかった時は、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



生涯学習部から

お知らせ

●新人教育プログラムについて

平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。修了に必要な履修単位数が18単位から15単位となり、修了年限は3年以上から1年以上に変更されています（最短1年で修了申請が可能）。また症例発表の必須化は廃止されました。

詳しくは昨年12月のJPTA NEWS（274、276号）をご参照ください。協会ホームページより閲覧できます。

また新人教育プログラム未修了の会員の方々は、協会ホームページよりログインするマイページにて履修状況を確認の上、今後開催されるセミナー・研修会にご参加ください。開催日は奈良県理学療法士会ホームページなどで順次お知らせいたします。

●新人教育プログラムおよび専門認定理学療法士に関わる履修ポイントについて

現在、新人教育プログラムおよび専門認定理学療法士に関わる履修ポイントのお問い合わせ窓口は、日本理学療法士協会事務局となっております。また、履修履歴に関するよくある質問や問い合わせ方法のお知らせが、平成24年8月10日に更新（ver. 3）されています。詳しくはマイページからご確認ください。

マイページは協会ホームページよりログインできます。マイページにて履修状況をご確認いただきますようお願いいたします。

なお、新プロ単位・専門認定ポイント（学会発表や参加など）は概ね2ヶ月後以降にマイページに反映されます（履修履歴に関するお知らせより）。

●第3回新人教育プログラムセミナーについて

第3回新人教育プログラムセミナーを下記の通り開催いたします。

日 時： 平成24年12月9日（日）9：30～15：15

場 所： 畿央大学 KB04教室

所在地： 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

URL： <http://www.kio.ac.jp/index.html>

参加費 奈良県理学療法士会 会員： 各テーマ1000円（計4,000円）

非会員（他府県士会員を含む）： 各テーマ2,000円（計8,000円）

内 容：

9：20～9：40 受 付

9：40～9：45 オリエンテーション

9：45～10：45 『理学療法における関連法規（労働法を含む）』

（旧テーマ：「理学療法士及び作業療法士法」ならびに関係法規等について）

門脇 明仁先生 奈良県立奈良病院

11：00～12：00 『人間関係および接遇（労働衛生を含む）』（旧テーマ：人間関係及び労働衛生）

田中 秀和先生 奈良県立医科大学付属病院

12：00～13：00 昼食（60分）

13：00～14：00 『一次救命処置と基本処置』（旧テーマ：該当なし）

増田 崇先生 奈良県立奈良病院

14：15～15：15 『理学療法教育方法論 - 臨床実習教育を含めて -』（旧テーマ：同名）

藤田 浩之先生 白鳳女子短期大学

- 当日、会員確認を行いますので、必ず会員証を持参し、提示してください。
なお、平成24年度に新しく入会される方は、セミナー開催日までに入会手続き（会費納入を含む）を完了させてください。新入会手続きが終了している方は、会員証（会員番号）がなくても参加（会員料金）が可能です。当日、会費納入の領収書など、入会手続き完了が証明できるものを提示してください。
- 平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。詳しくは昨年12月のJPTA NEWS (274、276号) およびマイページをご参照ください。協会ホームページより閲覧できます。新・旧テーマと受講状況を確認の上、受講してください。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。
- 近鉄五位堂駅からバスにて馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。
- 問合せ先：
西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎
〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6
TEL (0745) 71-6688(代) FAX (0745) 71-1111
E-mail 生涯学習部 s.nishiyamato.reha@gmail.com

平成24年度奈良県理学療法士会専門領域勉強会 第1回特別講習会

平成24年6月23日・24日

自身も初めてのお泊り勉強会でしたので、気合をいれて向かいました。

一日目の昼から講義が始まり、初めは筋や関節、靭帯などの解剖を中心にお話していただきました。初めて聞く内容も多く話についていけないか不安なところもありましたが、臨床との接点も踏まえての講義だったので理解しやすかったと思います。また、臨床で良く診る膝関節の屈曲制限に対しての問題点の抽出やその為の評価方法などを実技を多くいれながらレクチャーして頂きました。実際に山本昌樹先生が評価、治療するとその場で膝の屈曲角度が向上し関心させられました。実技のアシスタントとして熊谷匡晃先生、小野志操先生の2名に入って頂くことができ、質問も行いやすく実際に触って頂く機会を多くとることができることで普段の臨床での触れ方を再度改める機会となりました。

初日の午後の講義が終了すると、受講者での食事の時間となり他病院・施設で交流を深める事ができました。その際に、膝関節以外でも臨床で日頃悩んでいる事等を質問できる良い機会となりました。

二日目も朝から実技中心で行って頂き、初日に比べて膝関節の構造体もイメージしながら触れることができるようになってきていました。最後は、膝関節屈曲の際の皮膚の動きを実際にマーキングして皮膚の動態を把握することができ手術後の介入方法を教えていただく事ができました。

このお泊り勉強会を通して、膝関節の解剖から治療方法まで幅広く、また奥深くまで理解することができました。お忙しい中、貴重な時間を削りこれだけ充実した勉強会をしていただきました山本昌樹先生またアシスタントの先生方にお礼申し上げたいと思います。そしてこのような場所、スムーズな運営をして頂きましたスタッフの方々に感謝申し上げたいと思います。

(東生駒病院 山本晃久)



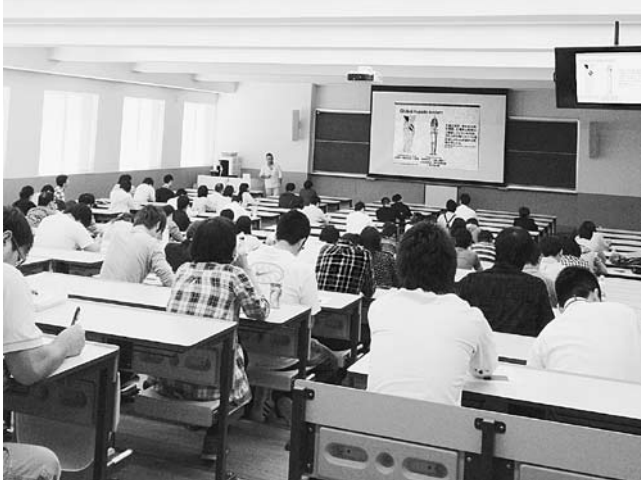
平成24年度 第2回研修会

日時：平成24年9月23日（日）

テーマ：腰椎・骨盤帯の評価と治療 ～MOTOR CONTROLに対する考え方～

講師：瓜谷 大輔先生（畿央大学 健康科学部 理学療法学科）

参加人数：会員77人、他府県士会員8人、学生5人 計90人



～印象記～

今回の研修会では畿央大学健康科学部理学療法学科の瓜谷大輔先生をお招きして、「腰椎・骨盤帯の評価と治療 ～MOTOR CONTROLに対する考え方～」というテーマで講義していただきました。

内容としては、安定性を得ていくための考え方についてBiomechanics ModelとControl Modelから始まり、動的安定化のストラテジーとして適切な適切に使うためにLoad（負荷）とpredictability（予測可能性）の要素を考えることが必要ということをご教授いただきました。また機能の統合的なモデルについてはForm closure（形態的な安定）、Force closure（力による安定）、Motor control（モーターコントロール）、Awareness（気づき）という4つ視点を日々の臨床でどのようにつなげ、患者様の治療に生かしていくのか考えさせられたのではないのでしょうか。中でもForce closureについては腰部・骨盤帯のLocal muscleである腹横筋・多裂筋・骨盤底筋群にフォーカスを当てていただき機能的な解剖学や運動学、そしてそれらの筋群の重要性を報告した研究論文の紹介をしていただきました。研究論文から腹横筋を収縮させるためには骨盤底筋群の収縮を行ったほうが効率よく収縮できるのではないかと非常に興味深い内容もありました。評価と治療においては、スライドで動画を交えていただきポイントをシンプルかつ明確に分かりやすく指導いただきました。Motor Control課題についても治療内容紹介、治療場面における口頭指示の具体的なヒントありと明日の治療にでも生かされる内容もたくさんある研修会でした。

最後になりましたが、ご多忙のなかご講義いただきました瓜谷大輔先生に深く御礼申し上げます。

研修部 井上 裕水

平成24年度第2回定例(拡大)理事会議事録

日時：平成24年5月19日（土） 16：35～18：55

場所：桜井市まほろばセンター

出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、西田、
廣池、田平、中村
部長・委員長：吉田、布上、細川、江村、榮崎、
岡本、徳久、河村、堀口、藤川、小川、福本、
生野（代理）、中野

監事：北村、中俣

議事録署名人：田平、中村

委任状：中西

書記：中野

議事：1. 各局・部・委員会報告（今年度事業確認）
2. 会長行動報告
3. 会員異動承認
4. その他

収書を財務へもっていくか、郵送やメール等で報告するようにする。

・両替業務に関しては時間がかかるため、各部・委員会で行ってもらいたい。

⇒財務部で両替したお金を管理することも大変なため、各部・委員会で両替を行う。

・講師の交通費に関して、今までは大まかな金額で算出していたが、税理士より細かく算出するよう指摘を受けた。

⇒実費をきっちり算出する必要はなく、インターネットの運賃検索サイト等を利用して算出するようにする。

(4)第22回奈良学会準備委員会（岡本準備委員長）

・発表用のパソコンの台数を検討している。士会の備品においてパワーポイントが入っているパソコンの台数が少なく、各個人のパソコンを持ちだして使用していた事例がある。今学会でも各個人のパソコンを持ちだす意見も出ているが、故障した場合の補償等があるのか確認したい。

⇒士会の保険の対象は対人のみ。士会でパワーポイントが入ったパソコンを2～3台購入するか、会場の備品を借りるか、対物保険に加入するか検討していく。

(5)福利厚生部（細川部長）

・保険の更新時期が近づいているため、傷害保険の用紙への記入をお願いしたい。対象期間は平成23年6月1日～平成24年6月1日までで、各部・委員会、役員会の活動を対象とする。役員と部員と会員で値段を変えて保険を掛けている。

(6)表彰審査委員会（堀口委員長）

・7/1開催の奈良学会で表彰される方々を、今年度から抄録に名前を記載し、アピールする。

(7)会誌部（堀口部長）

・会誌の印刷を依頼している業者に発送作業も依頼している。発送作業の都合上、発送時期が多少ずれることが予想される。大幅に発送がずれようであれば、業者の変更を検討する。

(8)生涯学習部（徳久部長）

・6/17に新プロが開催され、その後に新入会員歓迎会を開催予定。今年度からオリエンテーションは行われないので、新人には入会後に入会の証明をもって参加していただく。

・変わります専門理学療法士制度の第10報にも掲載があったが、研修会でポイントを付けるため

1. 各局・部・委員会報告（今年度事業確認）

(1)研修部（河村部長）

・第1回研修会を6/10に実施し、第2回研修会を9/23に実施する予定で進めている。

(2)総会資料の監査について（北村監事）

・総会資料に関して外部監査が入った際、外部の人でもわかりやすいように、事業報告と事業計画において整合性のある記載が必要である。

⇒次年度から事業計画と事業報告が合わない時は、理事会に謀る。専門領域委員会においては、申し合わせ事項を更新のうえ、事業計画を立て、計画に合った事業報告をしてもらうようにする。

・今年度は法人会計処理に慣れていないこともあって、財務処理に相当の時間を要した。次年度も財務処理に時間を要することが予想されるため、総会の日程を後らすか、事業を早めに終わらせることはできないか。

⇒6月中に登記を済ませ、6/30までに県への報告が必要なため、総会の日程を後らせるのであれば、6月の第1土曜が限度。各部・委員会においては事業が早く終われるよう、事業が終わったら速やかに財務へ決算の処理を行うようにする。

(3)財務部（布上部長）

・これまで各部・委員会で発生した講師料の税金をまとめて納税していたため、追徴課税が発生していた。税理士より、講師料は発生した月に納税するよう指摘を受けた。

⇒講師料が発生した部・委員会は、速やかに領

には、原則1コマ90分以上で2コマ以上を行う必要がある。

⇒今後、士会でポイントの付く研修会等を開催する場合は、条件を配慮した形で研修会等を組む。

- ・研修会の実施方法としては、生涯学習部にあるパソコンで協会へ事前申請を行い、事前の参加登録リストを作成し、当日にパソコンとカードリーダーを用い入室を管理する。
- ⇒今後、士会主催や後援の研修会等を開催する場合は、生涯学習部へ報告する。

(9)第20回公開講座準備委員会（廣池準備委員会）

- ・現在、5件の問い合わせがあり、委員会で対応を行った。
- ・OT士会の広報から、OTの会員へ案内したいのでチラシが欲しいとの依頼がきた。チラシはなくなったため、チラシをコピーして配布することで対応した。
- ・来場者は未知数であるが、できれば会員の方に来場してもらいたいとの思いがあり、講師やテーマ、内容等を検討した。職場の会員に広報をお願いしたい。
- ・失語症合唱団に関して、12時からリハーサルを開始し、13時に開演を予定しているため、昼食のお弁当を用意したいと考えている。昼食代として18,200円（700円×26名）を経費として計上したい。また、垂れ幕を作成するために3万円の経費計上をお願いしたい。
- ⇒理事会にて了承された。

2. 会長行動報告（尾崎会長）

4/19 第52回近畿理学療法学会 第8回準備委員会

／29 財務部会議 財務監査、監事財務監査立会

5/7 調整会議

／11 理学療法啓発部 会議

／19 第19回定期総会、定例理事会 第2回

3. 会員異動承認

平成24年3月18日から4月14日までの新入会員（10名）および平成24年4月15日から5月19日までの会員異動が理事全員に承認された。

4. その他

(1)公開講座準備委員会について（尾崎会長）

- ・第21回公開講座準備委員長に佐藤 豪 氏が指名され、理事会にて決定した。

(2)奈良県理学療法士学会について（尾崎会長）

- ・第24回奈良県理学療法士学会の学会長として中村 貴信 氏が推薦され、理事会承認を得た。
- ・第25回奈良県理学療法士学会の学会長として藤川 和仁 氏が推薦され、理事会承認を得た。

(3)事業にかかる交通費や駐車場代について（北村監事）

- ・必要経費の場合は、特例で理事会承認を経て、支出する方針で検討する。

(4)理事会の日程について（尾崎会長）

- ・今後の理事会の日程は6/16、7/28、9/8、10/13、12/1、1/12とする。11月の理事会開催に関しては、緊急で審議が必要な場合、平日の開催を検討する。

以上

平成24年度第3回定例理事会議事録

日時：平成24年6月16日（土） 15：15～19：05

場所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、田平、中西

監事：北村、中俣

議事録署名人：佐藤、中西

委任状：西田、廣池、中村

書記：中野

議事：1. 会長行動報告

2. 会員異動承認

3. 各局・部・委員会報告

4. 近畿ブロック役員会報告

5. 日本理学療法士協会定時総会報告

6. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

5/25 第47回日本理学療法学会

／26・27 第47回日本理学療法学会・レセプション

／29 第52回近畿理学療法学会 第9回準備委員会

6/1 介護保険部 講演会

- ／2 日本理学療法士協会 第1回近畿ブロック委員会
なら新人研修システム『呼吸循環コース』情報交換会
- ／3 第20回公開講座
- ／4 エリシオンNRH総合施設開設準備室
中西氏・井上氏 来訪
- ／6 調整会議
- ／8 国会見学と山口和之君との意見交換会
日本理学療法士協会 公益社団法人移行
記念祝賀会
- ／9 第41回日本理学療法士協会 定時総会
- ／10 研修部 第1回研修部
- ／14 第52回近畿理学療法学会 第1回事務局会議
- ／16 定例理事会 第3回

2. 会員異動承認

平成24年5月20日から6月16日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 各局・部・委員会報告

(1)事務局（増田理事）

- ・協会より各県士会に対し、各県クリニックのPTで協会の調査に協力できる施設の推薦依頼がきている。年1回の調査協力依頼で、ノルマは5施設。締切りは7/31までとなっている。
⇒社会局で対応し、推薦施設を検討する。
- ・協会は山口和之参議院議員の再選を願い、推薦状を発行し手交した。協会より、各士会においても推薦状を発行していただくよう依頼がきている。
⇒参議院選挙における山口和之氏への推薦状の発行について承認された。発行時期、書式および郵送方法については、協会へ問い合わせたうえで検討する。
- ・次回全国士会長会議（鹿児島県）における士会提案議題の提出依頼が協会より来ている。これまでは代議員会で士会提案議題を提出していたが、今後、提出の場は全国士会長会議へ変更となった。締切りは7/31となっている。
⇒MLにて流し、提案議題を募ったうえ、来月の理事会にて決定する。

(2)広報局（松村理事）

- ・会誌部では昨年度士会活動の一覧表を作成し、会誌に掲載する予定である。一覧表における開催行事の呼称や行事担当部・委員会名の表記の仕方に不安な点があるため、ご指摘をいただきたい。

⇒一覧表に関して、士会主催の活動については掲載し、後援については掲載しない。掲載行事については、会長行動より抜粋し、会誌部へ掲載依頼を行う。

- ・会誌の封入作業および発送作業については、中谷印刷へ依頼している。封入作業において時間がかかり、発送時期が遅れると思われる。また、封入作業も依頼している分、費用も高くなることが予想される。現在、見積中であるが、中谷印刷側は別途費用を請求しないとのこと。会誌部としては心苦しいため、心付けを検討したい。
⇒あくまでも業者が請求してきた金額を支払うことになるので、業者と話し合い、請求してもらうように交渉する。

(3)財務部（北村監事）

- ・拡大理事会で財務関係（収支相償）について話したが、訂正したい内容がある。
(収支相償について)
誤：収入に対して支出が同じぐらないといけない。収入は繰越金を含める。
正：収入には繰越金を含めない。
結果：例年通りで、必要なことに支出し、無駄遣いしないようにする。年度始めの運転資金として200万円くらいの繰越金は確保したいと考えている。

(4)第20回公開講座準備委員会（中野委員）

- ・6/3にいがらホール（小ホール）にて開催し、無事に終了した。参加者数は216名。内訳は一般120名（うち失語症合唱団43名）、医療・介護従事者63名（PT：25名、OT：12名、ST：4名、ケアマネ：6名、看護師：5名、介護士：2名、PSW：1名、その他：8名）、学生5名、スタッフ14名、学生ボランティア・教務14名。
- ・障害を持たれた方の参加も多く、介助や環境設定にはかなり気を使ったが、けが人を出さずに無事終えることができた。
- ・反省点としては、当日用意した資料が150部だったため、参加者全員に資料が行き渡らず、アンケートにも資料がもらえなかったと不満の声があった。参加人数の予測は難しいところであったが、もう少し資料を用意しておくべきであった。また、開場時間をポスターに記載しておらず、開場時間を知らせて欲しかったという意見やプログラムの流れが分かりづかったという意見もあり、当日のプログラムを作成し配布したほうが良かったという意見等が委員会の会議で出た。
- ・例年、学生ボランティアにはお弁当と図書カー

ドをお礼として送っている。今回はお弁当のみとなっているので、12名の学生ボランティアに対し、お礼として図書カードを送ってもよいのではないかと。

⇒12名分の図書カード(1,000円×12名)を学生ボランティアにお礼として送ることが決められた。

- ・運営費に関して、運営スタッフの数が膨れると3万円では不足、委員長等が補填しているケースが出ているのではないかと。財務としては必要であれば、運営費の増額を検討しても良いと考えている。

⇒運営費に関して、学会には上限5万円、公開講座には上限3万円を計上する。

4. 近畿ブロック役員会報告

(1)士会長、事務局長会議(尾崎会長)

- ・山口議員の後援会について、近畿の中でも温度差があり、山口議員側がもっと動くべきではないかという意見や、議員1年生であってベテラン議員と同じように見るのは酷であり、後援会側が育てていく必要があるという意見も出ていた。
- ・PTの需要の状況について、他県ではPTよりOTの需要が高いとの報告があった。奈良士会ではまだPTの需要はある。
- ・法人移行について、滋賀県が4月から公益社団法人になり、大阪府は来年4月から公益社団法人となる予定。

(2)学術局(石橋理事)

- ・前回学会(滋賀県)の報告があり、奈良士会は次回学会の報告を行った。来年の学会を担当する京都市会は、開催日時を決め、開場を押さえている。
- ・今年度の臨床実習指導者研修会は8/25・26に和歌山で開催される。詳細は協会HPに掲載されている。担当制で奈良士会は2年後に開催する予定。

(3)社会局(佐藤理事)

- ・公益事業への取り組みについての報告があった。事業内容としては例年通りのものが多く、介護教室やブースを用いた介護相談、高校生へのPT体験等も好評であった。
- ・地域包括ケアの改正については今回、社会局で取り上げられなかったため、8月の会議で情報交換を行う予定である。

5. 日本理学療法士協会定時総会報告(尾崎会長)

- ・第1号議案は名誉会員について、第2号議案は

会員の除名について報告があった。

- ・第3号議案に関して、協会の中に学会という機関を置くことが新定款にて定められているが、全国病院理学療法協会から「日本理学療法学会」は既に商標登録されているため、使用を禁止するよう求められている。よって「日本理学療法士学会」へ機関名を変更することとなった。
- ・23年度事業報告・決算、24年度事業計画・予算についての報告があった。
- ・協会への要望としては、もっと情報を迅速に伝えて欲しい等の意見が出ていたが、全議案について承認された。

6. その他

(1)啓発部の川柳募集について(佐藤理事)

- ・4月に川柳を募集し、5月に啓発部内で選定して、公開講座にて大賞と会長賞と佳作を発表した。HP上に今後、掲載する予定。商品の発送は次回の部会で決定する。

(2)外来リハビリテーションの診療料について(増田理事)

- ・包括的指示を取っていないと、今後、包括的指示が伸びていかないという話が出てきている。包括的指示を行っていくのであれば、実績を作っていく必要がある。
- ⇒奈良県ではまだ包括的指示へ移行している施設は少ない。包括的指示へ移行している施設から情報の収集を行う。

以上

賛助会員一覧

(株) 日本メディックス	564-0044	吹田市南金田町 2-12-18	06-6369-1201
酒井医療株式会社	565-0853	大阪府吹田市春日 3-20-8	06-6386-3545
(株) 富金原義肢製作所	571-0039	門真市速見町 2101	06-6909-6528
(有) カンサイ義肢	571-0048	門真市新橋町 29-1	06-6908-0911
(有) ウィンド	630-0211	生駒市桜ヶ丘 5-29	0743-75-3887
(株) 奈良義肢	630-8435	奈良市西九条 3-2-23	0742-62-7979
奈良ニッセイエデンの園	636-0071	北葛城郡河合町高塚台 1-8-1	0745-33-2222
(株) イカリトンボ、ケアホープ	636-0154	生駒郡斑鳩町竜田西 4-1-40	0745-75-2028
テクノブレース	636-0247	磯城郡田原本町阪手 13-7	07443-2-5893
(株) 川村義肢エイドセンター奈良	636-0343	磯城郡田原本町大字秦庄 432-15	07443-2-8891
ツザキ・ケア・ブレイス	636-0347	磯城郡田原本町新木 1-141	07443-3-3678
(株) 大床義肢	639-1045	大和郡山市小林町西 1-4-7	0743-56-8944
山一株式会社	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-4-11 金鳥土佐堀ビル5階	06-6447-5924

会員数・施設数動向

平成24年8月31日現在

	施設数	会員数
病 院	63	660
診療所・医院	12	16
老健・特養・デイサービス	42	74
訪問看護ステーション	11	27
市 町 村	2	2
P T養成校	4	31
自 宅 会 員	80
総施設数	※ 134 施設	
総会員数		890 名

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

生駒市承認：地域密着型小規模多機能事業所オープン!! 訪問&リハセンター：理学療法士・作業療法士募集

“急性期から在宅へ”コンセプトは『Re:日常』在宅リハと施設リハの連携・融合を目指して
4月1日「リハビリ特化」地域密着型小規模多機能事業所【いこいの家26】を開設しました

在宅に興味はあるが怖くて踏み切れない人も、志があれば大丈夫です。コミュニケーションや
リスク管理が出来るまではリハセンターで経験を積んで、自信が出来てから在宅へ進めます。

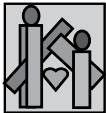
★各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい

いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川

〒630-0243 奈良県生駒市俵口町814番地1 ハイネス生駒302号

TEL：0743-70-8300 e-mail：ikoi@kcn.jp <http://lifecarejp.com/>

施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中



理学療法士・作業療法士募集

募集人員：いずれか1名（臨時職員・年齢不問）

時給：1,250円～1,600円

勤務形態：半日単位の勤務も可能

施設概要：入所定員100名・通所定員25名（一般棟70名・認知症棟30名）

交通：近鉄大阪線榛原駅から徒歩5分

申込方法：電話連絡の上、履歴書等を提出。随時受付

宇陀市介護老人保健施設 さんとぴあ榛原

〒633-0253 奈良県宇陀市榛原萩原801番地の1

電話 0745-85-2525、FAX 0745-82-2131 担当 事務長 笹次（ささじ）